



岡山県原水協通信

2017年 4月 18日 No400

原水爆禁止岡山県協議会

700-0981 岡山市北区西島田町 4-25

TEL086-244-4526(F)805-6172

kenmin@po5.oninet.ne.jp

笠岡市 住民過半数の署名めざす

「ヒバクシャ国際署名」 市民ぐるみの運動開始

笠岡市では「ヒバクシャ国際署名」を進める「署名をすすめる市民の会」を4月6日に結成し、6月に開催される核兵器禁止条約交渉会議に向け市民の過半数署名を集め国連に届けようと運動を始めました。

「署名をすすめる市民の会」は市職労、民商、人権連、年金者組合、医療生協、新婦人、母連、おかやまコープ、共産党等で構成されており、これに行政組織の「笠岡市非核平和都市宣言啓発実行委員会」（委員長・土屋圭示県被爆者会会長、事務局・市人権推進課）と共同して「署名をすすめる市民の会」として運動を進めます。

6月14日に2回目の会議が開かれ今後の運動について話し合われました。

笠岡市では2010年NPT再検討会議



に向けての署名を、26728筆、2015年NPT再検討会議には14779筆を集め国連に届けてきました。14日の会議では、公民館、学校、社協などの団体をはじめこれまでの署名でつながりのある市内のすべての団体、組織に署名用紙を渡し、署名の協力を要請すること。市が行うイベントで署名コーナーを設置し、市民に訴える、庁舎の玄関に署名コーナーを置き来庁者に呼びかけることなど署名の取り組みが話されました。今後毎週会議を開き運動の状況を把握するなどを確認しました。

「条約実現を署名で後押ししたい」。



「ヒバクシャ国際署名」を進める市民の会

会長・原田 毅 さん

私たち笠岡市民も”被爆者は核兵器廃絶を心から求めます”の訴えを支持します。今、国連で核兵器禁止条約締結に向け大きな動きが始まっています。こうしたとき笠岡で署名を大いに広げていこうと、署名をすすめる市民の会と、笠岡市非核平和都市宣言啓発実行委員会との共同で「ヒバクシャ国際署名」を市民ぐるみですめています。国連の会議で条約締結の実現を署名で後押ししていきます。



市長が呼びかける署名用紙

笠岡市非核平和都市宣言啓発実行委員会委員長土屋圭示氏（県被爆者会会長）と小林嘉文笠岡市長の訴えが掲載された独自の署名用紙が出来上がりました。「核兵器のない恒久平和の実現は私と市民の願いです。再び惨禍を繰り返すことのないよう、市民とともに核兵器廃絶の訴えに賛同します」と小林市長は訴えています。市民の過半数を集める数を印刷します。